

みんなの家'77のあゆみ

- '75年3月26日 赤星建彦が小平市で療育音楽の活動を開始
身障児と母の楽団「レッドスターズ」誕生
- '77年7月7日 「みんなの家'77」設立
- '79年3月14日 NHK「テレビロータリー」放映
(この間、多数のコンサート活動、テレビ出演)
- '93年8月24日 日本テレビ「24時間テレビ」放映
- '95年11月12日 テレビ朝日「スーパーコロシアム'95 in Ariake」出演
- '97年2月9日 東京国際フォーラム「The Power of Music」出演
- '97年 赤星建彦、(財)東京ミュージック・ボランティア協会が
日本で初めて全米音楽療法協会特別会長賞受賞
アメリカ演奏旅行
- '99年4月 音楽を楽しみながら仕事ができる作業所
「リズム工房」開設
- '00年4月20～26日 台湾演奏旅行
- '03年9月15・23日 NHK「日野原重明・赤星建彦現役人生まっくら!」放映

始まったきっかけは?

「やっと出来たなあ。だけどこれからが大変なんだ。」と身が引きしめる思いの七夕のひとつ。1977年7月7日、みんなの家'77は誕生しました。

きっかけは、作曲家・赤星建彦(みんなの家'77創始者、(財)東京ミュージック・ボランティア協会会長)が筋ジストロフィーの子供たちの演奏を聞いた時でした。彼等は、独学でギターの練習をしたのですが、その教本は、以前、赤星が某テレビ局関係会社で作ったギターのカセット教本だったのです。

赤星建彦は、その真剣で清らかなサウンドに「音楽がこんなに喜ばれる所があるんだ」と衝撃を受け、音楽することが精神的なプラスになるだけではなく肉体的にもリハビリテーションになるということをもっと感じました。身障者や老人などハンディキャップのある人たちが音楽に生きがいを求めること、そして心身の活性化へと繋げることへのお手伝いのできたら…と、療育音楽の活動にのめり込みました。

1999年には、音楽を楽しみながら仕事ができる作業所「リズム工房」も開設され、益々地域に根差した活動を行なっています。

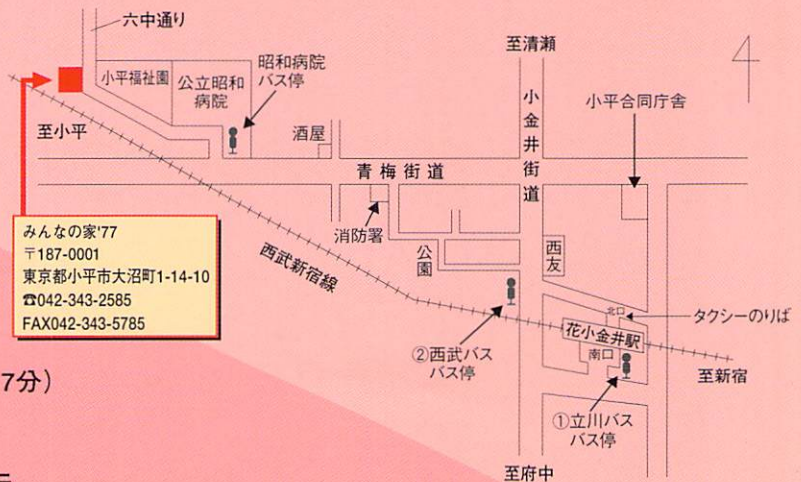


〈交通機関〉

西武新宿線 花小金井駅北口下車(徒歩17分)

〈バス案内〉

- ①「花小金井駅南口」バス停から昭和病院行
「昭和病院」終点下車徒歩2分(立川バス・JR国分寺駅北口発)
- ②花小金井西友前「花小金井駅入口」バス停から小平駅南口行
「昭和病院前」下車徒歩2分(西武バス・JR武蔵小金井駅北口発)
(通所者用送迎バスもご利用できます。ご相談下さい。)



全米音楽療法協会特別会長賞受賞(赤星建彦、(財)東京ミュージック・ボランティア協会)

小平市通所訓練施設

療育音楽 / 音楽療法施設

みんなの家'77

〒187-0001 東京都小平市大沼町1-14-10

TEL042-343-2585 FAX042-343-5785

E-Mail: tmva@kb3.so-net.ne.jp

(財)東京ミュージック・ボランティア協会 新宿スタジオ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-19-8藤原ビル

TEL03-3363-2371 <http://www.tmva.or.jp>



療育音楽ってなあに？

日本で、そして世界でもユニークな音楽を中心とした通所訓練施設「みんなの家'77」では、精神的、肉体的リハビリテーションを目的に、個々の障害に応じた療育音楽(赤星式音楽療法)を行なっています。また、ひとりひとりの個性と可能性を大切にはぐみながら、障害の程度にかかわらず、コンサート活動のできるミュージシャンの育成や積極的な社会参加を行ない、様々な壁を乗り越えて小平から日本の各地へ、また世界へはばたいていけるように努めています。

「みんなの家'77」で行われている音楽療法を、“療育音楽”と呼んでいます。これは、(財)東京ミュージック・ボランティア協会、赤星建彦会長によって生みだされたプログラムで、利用者が主役となって自分から参加できる状況の中で、グループでのリハビリテーションの一環として行なうものです。療育音楽としてのリハビリテーションは、“楽しくなければ”を前提とし、①手を有効に使うことによって脳を活性化②歌、発声訓練、呼吸法を通して呼吸器の強化③リズム感をつけることによって日常生活のリズムへと結びつける。を図っています。これらのカリキュラムは、医師や理学療法士からの医学的なアドバイスのもとに行われています。

どんな活動をしているの？

音楽の上手下手を問題にするのではなく、音楽を使って楽しくリハビリテーションできるように、下記の目標へ向けて活動しています。基本調査票、継続調査票、活動記録、年間レポートなどを用いて、療育音楽療法士など各専門分野の職員が心身両面での変化を常に把握し、利用者の状態に合わせた活動を行なっています。

- ・音楽演奏による機能訓練
- ・手を刺激することによる脳の活性化
- ・リズム感の養成
- ・呼吸器強化／発声練習
- ・集団でのコミュニケーション作り
- ・自己発散、自己表現の向上
- ・集中力の向上
- ・日常生活の訓練

全米音楽療法協会特別会長賞受賞(97)



全米音楽療法協会最高顧問カールブルーン氏より記念プレートを授与される赤星建彦会長

特別ワークショップ



クリスティー・ステイプ氏(アメリカ)



バリー・バーンスタイン氏(アメリカ)

チャールズ・E・ファーマン氏(アメリカ)

ラッキー・セビラ氏(フランス)

プログラム

プログラムは曜日別に生まれ、年齢、心身の状態、趣向によって利用できます。又、音楽会出演、音楽交流旅行、イベントにも積極的に参加しています。音楽以外に、楽器作りなどの作業訓練も行なっています。



キラキラスターズ

日本各地で演奏活動をし、プロのミュージシャンを目指しています。



キラキラⅡ

年齢や障害に関係なく、皆で合奏をし、仲間どうしの交流を深めます。



キーボード

キーボードの上達を目的とするのではなく、弾くことの楽しさを感じます。



パーカッション

世界の色々な打楽器を使って、自己表現をしながら、リズム感の養成を行ないます。



ことり組

多動の子どもを対象とし、五感をたくさん刺激しながら、人とのコミュニケーションなどを学びます。



きりん組

肢体不自由の子どもを対象とし、身体のリハビリを中心に仲間と一緒に音楽を楽しみます。



機能訓練

音楽以外の時間は、作業活動などを通して機能訓練を行ないます。